

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	家庭の教育力充実事業	コード	03-02-02-01	担当課係	生涯学習課
事業実施期間	平成3年度～		担当者	電話	0869-64-1841
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	家庭教育			
	施策	家庭教育の充実			

事業について	
目的	家庭教育の支援を図るため、地域社会の身近な施設である公民館を始とする社会教育施設、小学校の余裕教室や校庭、地域の幼稚園、地域のコミュニティセンター等を活用して、子どもの遊び場の確保、子育て相談等を実施する。
対象(誰のために)	乳幼児から中学生までの親子
内容	幼稚園や小・中学校等を一つの単位として、親子でのふれあい活動(料理教室やスポーツ活動)を行ったり、不登校問題等の子育てに関する懇談会を開催した。

事業の結果								
実施項目	17年度							
	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)		
子育てふれあいネットワーク講座回数	45	回						
子育てふれあいネットワーク講座参加者数	3,090	人						
事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	580	国庫補助金等	290	直接事業費	国庫補助金等		
	人件費	1,325	受益者負担		人件費	受益者負担		
	合計	1,905	市債		合計	0	市債	
必要人員	0.15	人						
結果指標①	結果指標名	1講座あたり参加者数						
	結果指標量	69.9						
	単位	人						
	対前年比	0.00%						
結果指標②	事業費	1,905,000	円					
	単位当たりコスト①	27,253	円					
	結果指標名							
	結果指標量							
単位								
対前年比								
事業費		円		円		円		
単位当たりコスト②		円		円		円		

事業の成果			
成果指標名	子育てふれあいネットワーク講座の、1講座あたりの参加者	式又は説明	講座参加者総数/講座回数
成果指標量	17年度		
対前年比	70人	#VALUE!	
到達目標値	70人	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等:]	講座の対象は乳幼児から中学生までの親子となっているが、多くは子どもと母親である。父親の参加を促すために講座の開催日時、内容等を検討し、十分な講座のPRを行う必要があると思われる。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	少子化の中で、講座の開催回数も年々縮小傾向にある中で、受講生の増大を求めているのは非常に難しいが、その中で今後は、地域の住民等、特に人生の先輩としての高齢者の参加を促すことも検討すべきではないだろうか。
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	子育ての悩みを共有し、同じような事例について話し合いを行い、解決例を元に話し合いを行った中で、不安が軽減できたり、ストレスの解消にも導くことが出来た。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	コ 子育ては、親だけでなく、地域のみんが子ども達を見守り、地域として親を支援していくことの認識を広める事が必要と考えます。 メ できるところから少しずつ地域の子育て、親への理解、子育て支援を広げていき、楽しい子育てをめざして、堅苦しく考えないで参加できる子育て講座を推進していきたい。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	40回	結果指標量②	2800人
目標値 成果指標量	70人		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	父親の家庭教育への参加が十分とはいえないので、よりいっその啓発が必要だと考えます。	平成18年度	父親のみならず、地域に対しても参加を呼びかけることで、お互いが実際に子育て支援に取り組めば、子どもの安全・安心への取り組みにもつながるものと考えられる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と、その成果指標と留意しながら有効性の評価を行って下さい。